

# CHALLENGE NEWS

# チャレンジニュース!!

一発行一  
社会福祉法人 明徳会  
〒861-5503  
熊本市明徳町707-1  
TEL(096)215-9101  
FAX(096)245-2344

障害者支援施設  
**チャレンジめいとくの里**

障がい者ケアホーム&グループホーム  
**orangehouse**

新たな「チャレンジめいとくの里」に、障害がい者ケアホーム&グループホーム「オレンジハウス」と「めいとくファーム準備室」を、さらに六月には、福祉相談室を植木町に「地域生活支援センター チャレンジ」として開所しました。また七月

## 新たなチャレンジ

明徳会も四月から入所更生施設「チャレンジめいとくの里」と多機能型福祉サービス事業所「サポートセンターめいとく」から自立支援法により一体化して障害者支援施設「チャレンジめいとくの里」として再出発しました。

## 11・24

この数字は、何なのでしょう。十一月二十四日は、グーイングの「種の起源」初版が刊行された進化の日ですが、実は、私の車のナンバーなのです。「苦の無いいい福祉」とひとり語呂合せを喜んでいました。七月一日には、蒲島県知事提案で「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」が全会一致で成立しました。その目的は、「障害者に対する県民の理解を深め、障害者の権利を擁護するための施策を推進し、全ての県民が障害の有無にかかわらず社会の対等な構成員として安心して暮らすことので

## 第三十二回 熊本市障がい者大運動会

十一月十九日に（雨天時順延）水前寺陸上競技場で行われることがやっと決定しました。身体障害者福祉協会連合会、手をつなぐ育成会、社会福祉協議会、知的障害者施設連絡会、さらに心の障害者家族会で実行委員会を組織して継続してき

来年は、熊本市が政令都市移行の年でもあり、当事者の皆様の要望にあった、そして時代の変化にふさわしい大運動会実現に向かって役割を担っていき



NHK朝のドラマ「おひさま」で子どものころに耳にした「心に太陽を 唇に歌を」と 他人に励ます言葉を「に再会しました。入所者七%減員等、心配していた新体系移行も何とか前が見えてきました。厳しい中にも希望を持って前進したいと思っています。皆様のご協力をお願いいたします。

# 心に太陽を

施設長 松村 忠彦

「心から 大きく見ゆる 初日かな」

から早くも半年あまり経過いたしました。日本では、この間に三月十一日東日本大震災、十月二日九州新幹線全線開通、七月十八日女子サッカーなでしこジャパン、ワールドカップ制覇。二十四日テレビ地デジ化と歴史的な出来事がありました。



## ブログめいとく日和

通所・入所一体化して四月。スタッフ一同、「おもしろくて、たのしい、めいとくの里をつくらう!」、「チームワークで心と時間にゆとりを持つとう!」、「サービスの質を高めよう!」を運営ポリシーとして、ご利用者さまが本当に喜べるよう支援計画を立てました。半年を経過して嗜好調査と満足度アンケート調査（入所十二通、通所四十二通）を行いました。現在、改善策を模索している段階です。調査結果は、玄関横掲示板と公式ホームページに掲示していますので、ご覧下さい。

### ゴミ袋販売

昨年の十月から熊本市ではゴミ袋が有料になり、当施設でもゴミ袋の販売を行っています。お気軽にご利用ください。

【販売時間】  
月～土曜日の九時～十七時

【販売場所】  
チャレンジめいとくの里 事務室

（正面玄関から入り、右側にあります）

※当施設の都合により、日曜日は販売しておりません。申し訳ありません。

### あがたがたきた

【寄贈】  
トイレトペーパー・教材用空き箱・ジューズ・雑巾・入浴剤・お菓子・多数のお中元の品・果物・栄養ドリンク

### Private Eyes!

～「私のおススメの一品」～  
生活支援員 平野 康幸

#### 「ストレッチポール EX」

普段から猫背気味な私は、肩こりや度々起こる頭痛に悩まされてきました。そんな折、インターネットを何気に眺めていて見つけたのが、この「ストレッチポール」。

体の歪みを自然に矯正するもので、フィットネスジムでの使用実績、ショップ購入者のレビューを見ても批判する内容が、ほぼ皆無。「これは行けそう」と詳しく調べると価格が¥8,500と、ちょっとお高め。嫁と2日ほど相談し、思い切って購入を決意。（結果、自分のお小遣いで(ノ口)シクシク）

使用法は、至ってカンタン。ポールの上に仰向けに寝転がって体を右に左に「ゆらゆら」とさせたり、手のひらを下にして「くるくる」と回したりと、とても楽チン。

3日ほど続けたところでコリが殆ど消え、頭痛がなくなったことで正直驚きました。また、使用後は自然と背筋が伸びます。少しでも調子が悪いと思ったらすぐに「ゴロン」と気軽にできるので、これからはお世話になりそうです。

### めいとく相談室

障害者相談支援事業所では、障害のある方が地域で安心して自立した生活ができるように、日々の暮らしの中で抱えているニーズや課題に対応し、必要に応じて適切な福祉サービス等に結びつけるお手伝いをしています。

今年度、相談支援事業所を本体施設外に移転したことで、在宅の方の相談が多くなっていますが、その中で感じることは、「在宅者の地域連携をどのように確立していくか」ということです。

以前日曜日に、独居者宅で水道が止まって困っていると、近所の高齢者お二人が連絡を取り合い、修理して頂いたことがあります。日ごろから独居生活を心配して気にかけてくれ方々です。安心して生活ができるためには、親戚、地域の方々の理解と関わりを大切にしたい支援が出来たらと思います。

地域生活支援センターチャレンジ(旧：めいとく福祉相談室) 後藤  
住所 熊本市植木町植木 163-1  
電話 227-6450 F a x 227-6451  
E-mail meitoku-challenge@live.jp

### めいとく写真館

猫じゃらし 水前寺菜 ひまわり

#### 季節の花々

#### 岩下支援員結婚祝い!

#### スタークラブジブリ展

# 「福祉に出会い」職員奮闘記



生活支援員  
**田淵 光**  
 ●所属:生活介護 (あおぞら)  
 ●勤続:3年目

今回、職員奮闘記を書くことになりました。あおぞらグループの田淵です。今回書くことになりましたが、何をどう書いたらいいのか分からず、自分のことを書くなんてとても恥ずかしい、うまく書くこともできませんが…。書かせて頂きます。

## 「保育から福祉の世界へ」

私は幼稚園・保育園の先生に興味があり、その道の専門学校に通っていました。授業でも子どものことに関しての授業が多く、また幼稚園・保育園にしか実習に行くことがなく、福祉のことについては分からないことだらけで、その当時自分が福祉の職に着く事さえ想像もしていませんでした。そんな中、自分が福祉の世界へ進むうと思っただけは、めいとく通信の里に一カ月間、実習に来た事がきっかけでした。始めは「利用者様とどんな風に接したらいいのか、どのようにコミュニケーションを取っていいのか分からず、

とても不安な思いがありました。そんな気持ちや思いがありながら、毎日のめいとくに来る事で、「ご利用者様のことをもっと知りたい、もっと色んな事を学びたいと思うようになり、福祉の世界に進んでみようと思うようになりまして。



## 「グループとの出会い」

学校を卒業した私は、新たなきっかけがあった実習での縁でめいとく通信の里に採用を頂きました。入社してからはあおぞらグループで活動するようになり、学生時代に実習に来た時もグループで活動したことがあったので、ほとんどの方の顔と名前を知っていました。

実習でグループに入った時は、正直ビクビクすることが多くありました。個性豊かで、喜怒哀楽が激しいなあと、思うばかりで、自閉症の人ってとても怖いと感じました。怒った時など何を話しているのか、どうして欲しいのかも分からない感じでした。

しかし、一緒に活動していく中で怖いところから、とても頑張る人たちがなんだという気持ちに次第になっていって自分がありました。受注作業で行っている、シール貼りや

## インタビュー

**支援員**「うちちゃんのめいとく通信を始めたきっかけは何ですか？」

**宇都宮さん**「支援員の計らいで広報紙を作ってみないか提案されたのがきっかけです」

**支援員**「うちちゃんのめいとく通信を皆さんに読んでもらうという事はどうですか？」

**宇都宮さん**「嬉しいけど、記事がうまくいかないときは難しいですね」

**支援員**「作成期間はどのくらいですか？」

**宇都宮さん**「書きたい内容がある場合は一日で書けますが、記事が見つからない場合は一週間ほどかかります」

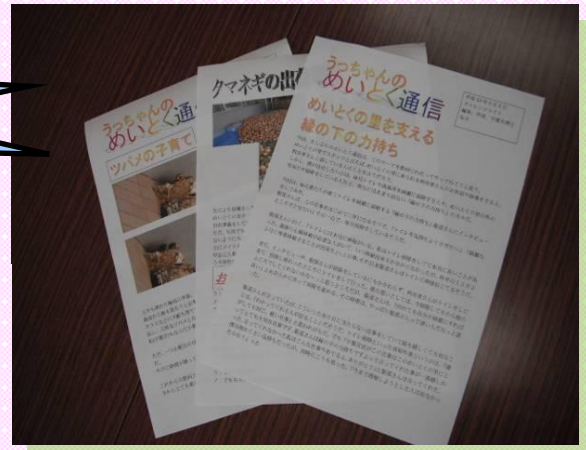
**支援員**「記事の内容はどのようにやってみつけてくるんですか？」

**宇都宮さん**「自分の目で見て判断して作っています」

**支援員**「作成は活動内でされてるんですか？」

**宇都宮さん**「活動時間が主ですが、自宅に持って帰ってやることもあります」

同じ広報紙を作る立場として、簡単な作業ではないと思います。うちちゃんのめいとく通信が今後、地域でも発行できたらしら嬉しいと思います。今後の活躍に期待します。  
 (森塚)



# めいとくで発刊中!! うちちゃんのめいとく通信!!

うちちゃんのめいとく通信は就労移行支援(チャレンジメイト)の宇都宮潤士さんが自作で発刊されており、季節の変化や活動グループでの取り組みなどが掲載されています。そこでインタビュー形式で取材をさせていただきました。



# 川上校区 ふれあい夏祭り

先日八月六日に川上校区ふれあい夏祭りに参加してきました。当日は時折り雨の降る中でしたが、盛大なお祭りで盛り上がりしました。参加されたご利用者様は、まず入口付近にあった消防車やはしご車・救急車に感激されていました。模擬店は着いた時には行列で、特に焼きそばは大盛況でした。毎年参加していますが、例年は少し遅い時間に行っていた為に楽しむ時間が少なかったのですが、今年は十八時前から参加出来たので、ステージや食べ物も十分に楽しむ事が出来ました。

夏と言えばやっぱり祭りですね！また来年行きたいねという声をたくさん聞く事が出来ました。(村上)

「最後に」  
 めいとく通信の里に入社してから三年目になります。まだまだ勉強不足な部分や力不足の部分があり、ご利用者様に



スタンプ押しなど決められた枠の中に、貼ったり、押したりときちんと作業ができ、学習材では、細かいビーズを紐に通したり、ビーズを板に並べたりと。EM作業では道具を準備し、EMを振ったり、潰したり、作成したりと自分か思っていた障がい者施設とは異なるものでした。

実習を経てめいとく通信の里に入社して、あおぞらグループ所属となつてからも、実習時に感じた気持ちを持ち続けながら、毎日ご利用様と楽しく生活させて頂いています。

日々色々なことが起こるあおぞらグループですが、ご利用者様一人ひとりの対応の仕方や声の掛け方等、勉強不足の部分が多くありますが、ご利用者様の笑顔の一つでも多く見れるようにし、今以上に良い関係作りが出来よう努力していきたいです。

## 御礼

前回、この広報誌で、ご自宅で使用されていない石臼の募集を行ったところ、すぐにご近所の方から連絡をいただき、早速ご自宅の方まで受け取りに伺いました。以前、こちらのご家庭ではお豆腐を作っていたとのことで、その役目を終えるまで大事に使用されていたそうです。長いあいだ使用されていないため、少々修復が必要ですが、今後この石臼をまた大事に使っていききたいと思います。本当に有難うございました。  
 (生活介護:あおぞらグループ 平野)

んな対応したり、どんな接し方、声掛けの仕方などをすればいいのか分からなくなるときのこともあります。先輩方の教えや、ご家族の方々、ご利用者様の皆さまに支えられながらですが、これからも色んな事を学び、一歩ずつですが成長して行けるよう努力し続けたいと思います。

また自分が担当させて頂いている四名のご利用者様はもちろん、皆さんと今以上に関わり持ち、良い関係、良い支援が出来よう奮闘し続けて行きたいと思っておりますので、皆さまこれからも宜しくお願い致します。

